

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 6 日

所属	人間社会学部	職名	准教授	氏 名	中倉智徳
研究課題	公共社会学とアクターネットワーク理論の接続可能性について				
研究キーワード	公共社会学、地域、アクティブラーニング	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	11. 住み続けられるまちづくりを	1. 貧困をなくそう	5. ジェンダー平等を実現しよう	16. 平和と公正をすべての人に	

1. 研究成果の概要

インタビューについて実施ができていないが、良好な関係性は継続できており、一般社団法人「アートと人々」の設立にいたり、理事として運営に関わっている。継続課題である。理論研究としては日本社会学会研究例会において、社会運動とアクターネットワーク理論およびガブリエル・タルドの理論の接続について論じることができた。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

【著書・論文 (査読なし)】

【学会発表等】

中倉智徳, 2025, 「タルドのモノダ、ラトゥールのプラズマーマー〈反転した還元論〉から考える」2024 年度日本社会学会研究例会、zoom

3. 主な経費

主に関連文献購入に充てた。

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

- ・科学研究費補助金基盤研究 C「地域社会におけるケイパビリティに基づく福祉行財政の基礎理論——自治と自立の検討」(研究代表者:村上慎司)(実施期間:2019 年 4 月~2025 年 3 月) 研究分担者
- ・大学コンソーシアム市川共同研究「共生のための文化芸術プログラム (ACCS = Art and Culture for Convivial Society)」研究代表者:人文学部日本文学文化学科 准教授 小野真嗣 (実施期間:2022 年 10 月~2024 年 9 月) 研究分担者
- ・一般社団法人「アートと人々」理事 (2024 年度~)

(本文は 2 ページ以内にまとめること)